



農業技術センターニュース

目次					
	タバココナジラミ（シルバーリーフコナジラミ）の薬剤感受性	・・・1		日射比例かん水制御によるメロン根域制限栽培	・・・4
	農薬のドリフト対策にむけ試験始まる	・・・2		夏秋栽培に適した米ナス新系統の育成	・・・5
	単為結果性高知ナスの収量特性	・・・3		新しいナシの人工受粉方法	・・・6

タバココナジラミ（シルバーリーフコナジラミ） の薬剤感受性

表 タバココナジラミ(シルバーリーフコナジラミ)成虫の薬剤感受性

供試薬剤	希釈倍数	供試個体群					
		土佐市 (シトウ・05.6)	南国市 (シトウ・05.4)	南国市 (シトウ・05.4)	農技センター (シトウ・06.3)	四万十町 (ヒマン・05.3)	感受性系統 (野菜茶試)
アドマイヤー水和剤	2,000	18.5	12.9	41.6	63.9	32.3	100
アクトラ顆粒水溶剤	3,000	52.8	26.6	66.1	70.2	—	100
ベストガード水溶剤	1,000	100	92.0	92.6	88.8	100	100
バリアード顆粒水和剤	4,000	51.4	32.8	33.9	59.1	—	96.0
モスピラン水溶剤	4,000	—	51.2	69.3	51.7	—	92.3
ダントツ水溶剤	2,000	—	18.7	48.5	32.8	—	96.0
アルバリン顆粒水溶剤	3,000	96.2	73.9	76.4	76.9	77.8	100
チェス水和剤	3,000	76.0	—	—	47.9	—	100
サンマイトフロアブル	1,000	100	95.4	100	100	100	100
コロマイト乳剤	2,000	100	76.7	92.9	84.7	—	—
ハチハチ乳剤	1,000	—	75.9	97.5	79.0	—	—
トレボン乳剤	1,000	—	47.7	73.3	50.5	18.8	95.8
コテツフロアブル	2,000	—	41.1	60.1	64.2	—	75.8
モレスタン水和剤	2,000	—	76.7	65.4	68.2	—	80.5

注) 数値は補正殺虫率(%), ()内は寄主作物・採集年月を示す。—は試験未実施。

タバココナジラミ（シルバーリーフコナジラミ）の防除にはこれまでアドマイヤー水和剤、チェス水和剤などが利用されてきました。しかし、数年前から効力低下が疑われる事例が多く見られるようになりました。そこで、県内の数圃場からタバココナジラミを採集し、主要薬剤に対する感受性を調査しました。その結果、供試した全個体群に対して殺虫率90%以上と安定した効果を示したのは、サンマイトフロアブル、ベストガード水溶剤の2剤のみでした。また、アルバリン顆粒水溶剤、コロマイト乳剤、

ハチハチ乳剤の殺虫率も70%以上と比較的高い効果を示しました。しかし、他の9薬剤は殺虫率の低い場合が見られ、効果は不安定でした。

現在、当センターでは登録農薬の少ないシトウでコロマイト乳剤などの登録促進に取り組んでいます。しかし、有効な薬剤に限られる現状では、薬剤のみによる防除は困難と考えられます。このため、微生物農薬の利用などの生物的防除法についても研究を進めています。

(昆虫担当 広瀬拓也 088-863-4915)